

令和8年度の予算が決定

予算総額は206億4,800万円

一般会計：125億100万円 特別会計：68億2,420万円 企業会計：13億2,280万円



養老町議会第1回定例会が3月4日(水)に開会され、最終日の19日(木)に令和8年度予算案(一般会計、7事業の特別会計、2事業の企業会計について)が可決されました。承認された新年度予算について、その概略をご紹介します。

基本姿勢・運営方針

本町の最上位計画である「養老町まちづくりビジョン」は、本年3月末で、前半の5年間を経過します。本町の活性化と発展により「養老の明日を拓く」ため、後半の5年間に向けた「養老町まちづくりビジョン」後期テーマ別戦略を策定しました。持続可能なまちづくりを実現するために、やるべきこと・やり続けるべきことは多く残されています。今後も「現場主義」「町民目線」で町民の皆さまと向き合い、職員一丸となって「全員野球」で町政運営していきます。

町政運営の基本方針として「地域経済の活性化と雇用の創出」「子育て支援策の充実」「健全財政の維持」「SDGsの推進を通しての地方創生のまちづくり」の4つを政策目標として掲げ、「養老町まちづくりビジョン」と密接に連携しながら、様々な施策を展開していきます。

厳しい社会経済情勢ではありますが、自治体経営において税収の確保は欠かすことができません。県と連携・協力的な確な債権管理の徹底により、滞納額の縮減を目指します。また、ふるさと納税においても、Webページの改善や返礼品の充実、「現地決済型ふるさと納税」の導入により、多くの寄附者に選んでもらえるよう取り組んでいきます。

加えて、「養老町公共施設等総合管理計画」の見直し、RPAや生成AIの活用、移動型スマートフォン教室の開催により、DXの推進および地域デジタル化を促進するなど、その他様々な分野においても施策を講じていきます。

予算のあらまし

予算の内訳は、一般会計が125億100万円、特別会計が68億2,420万円、企業会計が13億2,280万円、総額206億4,800万円です。

一般会計は前年度比3.0%減、特別会計は前年度比2.7%減、企業会計は前年度比16.1%減し、総額としては前年度比3.9%減となりました。

一般会計予算の歳入面では、町税は前年度から0.3%増の34億7,954万円、ふるさと納税をはじめとした寄附金は前年度から0.6%増の7億7,113万円を計上し、地方交付税は前年度比5.9%増の28億1,370万円を見込みました。

また、町債については消防自動車(救急工作車)更新のため1億4,120万円、町道の舗装・改良の地方道路等整備事業債に7,850万円を計上し、社会資本整備総合交付金事業債や県営ほ場整備事業債など、総額で前年度比44.0%減の3億6,520万円を計上しました。

令和8年度予算は、「人口減少対策」「物価高騰対策」に関する施策を重点的に進めることを基本方針とし、子育て支援と町民生活の安定を柱とした「町民の暮らしを守る堅実型予算」としました。若い世代の流出を抑えるため、子育て支援策の拡充を図るとともに、町の魅力を全国へ発信し、関係人口の増加を目指します。また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金も活用し、町民生活を支援します。加えて、積極的な企業誘致や既存企業への設備投資の支援、公共施設の計画的な管理、激甚化する自然災害への備え、DXによる行政・地域のデジタル化も行っていきます。